



特別勘定マンスリーレポート

特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注) 変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

ユニット・リンク(有期型)

ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)

変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

特別勘定マンスリーレポート(2009年7月末)

【目次】

1. 特別勘定の運用概況	3P
2. 各特別勘定の運用状況	
日本株式型	6P
日本株式積極運用型	7P
米国株式型	8P
欧州株式型	9P
世界株式型(為替ヘッジなし)	10P
世界株式型(為替ヘッジあり)	11P
世界債券型	12P
金融市場型	13P
グローバル・バランス型	14P
3. 各特別勘定で投資している投資信託の運用状況	15P
4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介	26P

『ご留意いただきたい事項』

■当資料の目的

当資料は、アクサ フィナンシャル生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します。

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金の変動(増減)する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うことになります。

■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

1. 特別勘定の運用概況

▶特別勘定の運用方針

日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX ^{※1})を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 ^{※2} を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 ^{※3} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス ^{※4} を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) ^{※5} 50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本) ^{※6} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) ^{※7} を上回る投資成果を目指します。
グローバル・ バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス ^{※8} 50%、シティグループ世界国債インデックス ^{※9} 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

- ※1) 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。
※2) S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。
※3) MSCIヨーロッパ指数とは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が提供する欧州株式を包括的に表した指数です。
※4) MSCI KOKUSAIインデックスとは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※5) NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村証券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※6) シティグループ世界国債インデックス(除く日本)とはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を除いた世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。
※7) NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。
※8) MSCI WORLDインデックスとは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。
※9) シティグループ世界国債インデックスとはシティグループ・グローバル・マーケットが算出・公表している指数で、日本を含む世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した指数です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

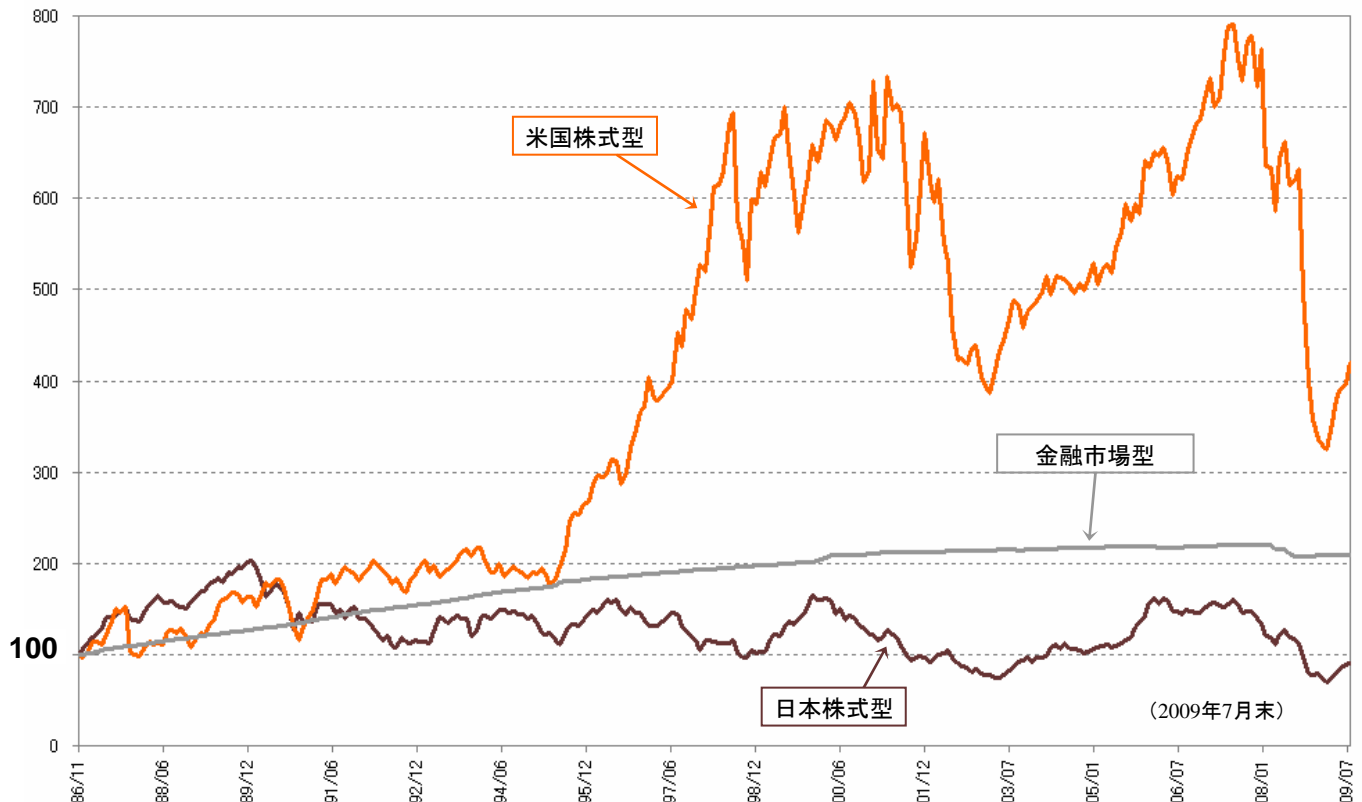
▶特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧(2009年7月末現在)

特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	91.01224150	+1.95%	+15.67%	+22.44%	▲22.34%	▲36.94%	▲14.57%	▲8.99%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	54.14847641	+3.69%	+16.91%	+18.96%	▲27.11%	▲42.37%	▲21.08%	▲45.85%
米国株式型	1986年12月1日	419.13408891	+5.66%	+10.22%	+27.47%	▲32.35%	▲32.43%	▲16.78%	+319.13%
欧州株式型	1999年4月1日	90.89332778	+7.13%	+19.64%	+39.48%	▲33.69%	▲33.41%	+5.12%	▲9.11%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	76.68524141	+7.18%	+15.97%	+34.25%	▲29.60%	▲29.83%	▲4.86%	▲23.31%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	71.38119078	+7.34%	+14.51%	+19.55%	▲15.26%	▲20.07%	▲3.61%	▲28.62%
世界債券型	1999年4月1日	121.75822566	+0.83%	+3.66%	+9.14%	▲5.15%	▲0.76%	+7.99%	+21.76%
金融市場型	1986年12月1日	209.25975932	+0.05%	+0.21%	+0.32%	+0.61%	▲3.65%	▲3.29%	+109.26%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	102.13379779	+3.53%	+7.98%	+20.69%	▲20.11%	▲15.14%	+6.21%	+2.13%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点に「100」として数値化したものです。

▶特別勘定のユニット・プライス推移(2009年7月末現在)

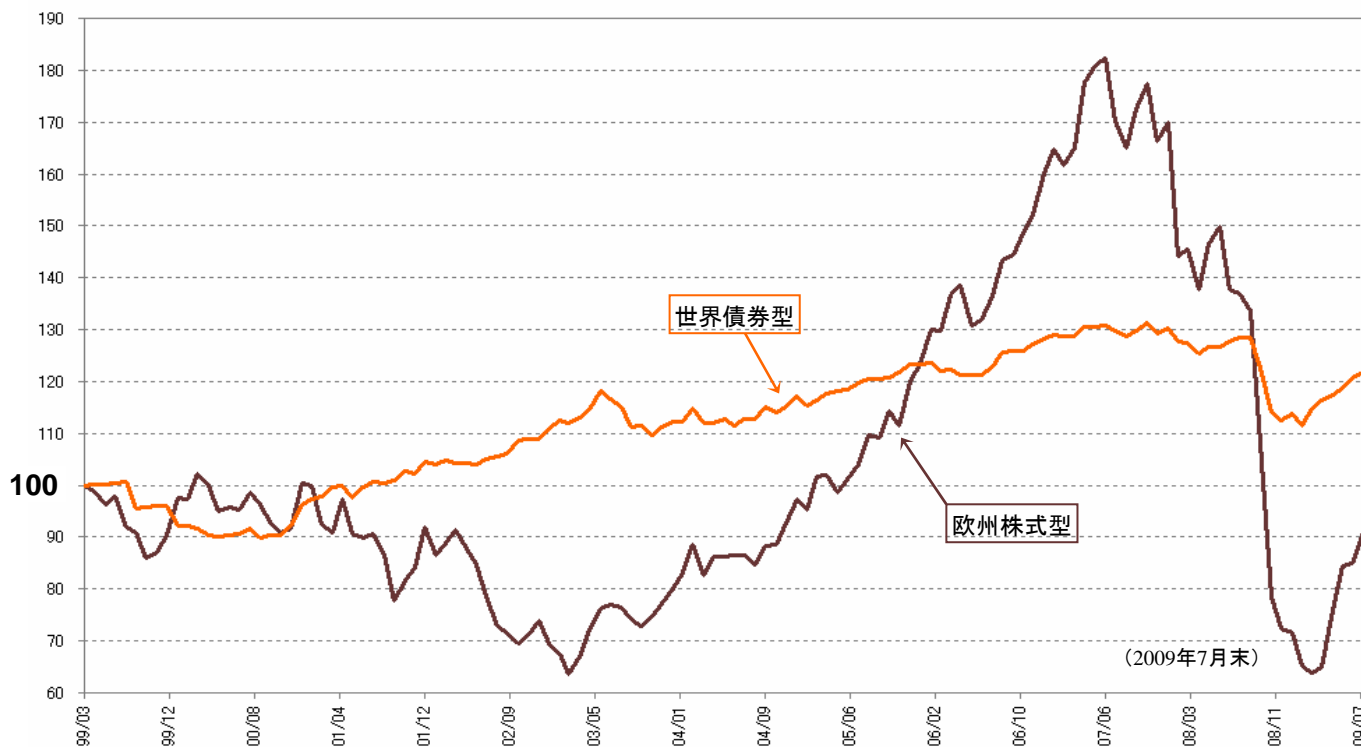
- ◆1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



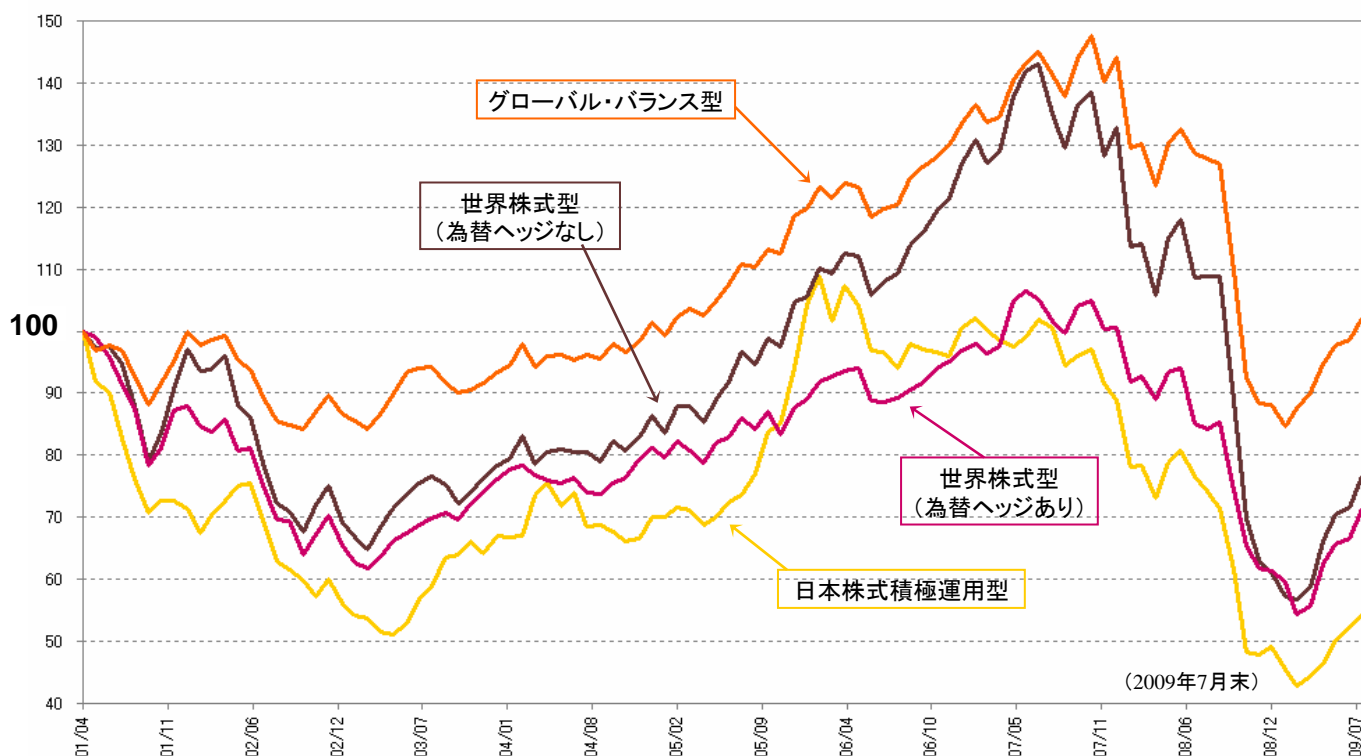
ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』
 ■将来の投資成果を保証するものではありません
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

◆1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



◆2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移
(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』
 ■将来の投資成果を保証するものではありません
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,905,753	97.8%
現預金・その他	377,703	2.2%
合計	17,283,455	100.0%

運用状況

2009年7月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で2.21%の上昇となりました。世界経済の底入れの兆しから主として国内輸出企業の収益回復期待が高まり上昇しました。日経平均は月間で398円高の10,356円で7月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.95%上昇しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、グロース運用を行う「モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンドI」、ならびにバリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討する予定です。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
91.01224150	+1.95%	+15.67%	+22.44%	▲22.34%	▲36.94%	▲14.57%	▲8.99%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (59.2%) : p15上段
モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I (11.4%) : p15下段
日本株バリューマルチマネージャーファンド (15.4%) : p16上段
SGターゲット・ジャパン・ファンド (11.8%) p16下段
現預金・その他 (2.2%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

日本株式積極運用型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,015,086	95.6%
現預金・その他	46,684	4.4%
合計	1,061,770	100.0%

運用状況

2009年7月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で2.21%の上昇となりました。世界経済の底入れの兆しから主として国内輸出企業の収益回復期待が高まり上昇しました。日経平均は月間で398円高の10,356円で7月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.69%上昇しました。

当特別勘定では、運用方針を勘案し、グロース運用を行う投資信託を組み合わせた運用を行っています。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」に投資しています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

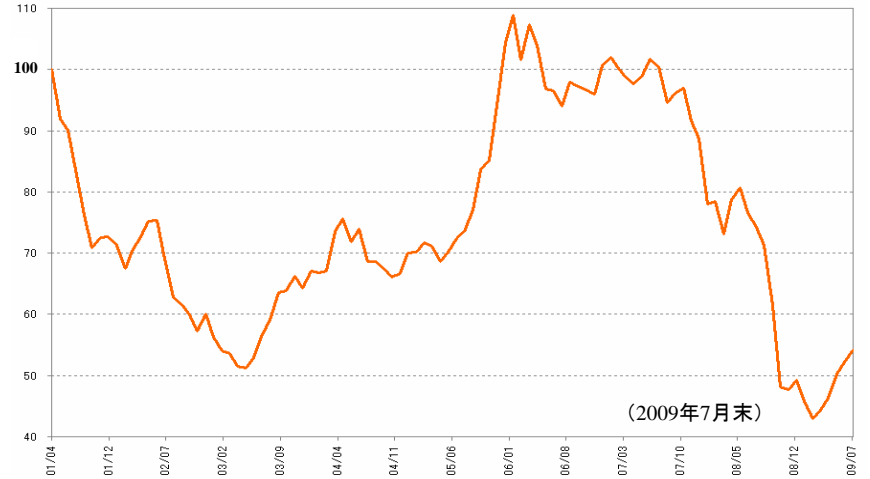
8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
54.14847641	+3.69%	+16.91%	+18.96%	▲27.11%	▲42.37%	▲21.08%	▲45.85%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

フィデリティ・日本成長株ファンドVA3 (50.5%) : p17上段
ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド (45.1%) : p17下段
現預金・その他 (4.4%)

(注)「p17上段」と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

米国株式型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S & P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,495,901	97.5%
現預金・その他	191,535	2.5%
合計	7,687,436	100.0%

運用状況

2009年7月の米国株式市場は、MSCI US (現地通貨ベース)で7.54%の上昇となりました。米国では、多くの企業が予想を上回る4-6月期の決算を発表し、景気底入れへの期待が高まりました。経済指標では、6月の住宅着工件数が昨年11月来で最多となり、住宅市場回復への期待が高まりました。このような市場環境の中、当特別勘定は5.66%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は資金流入に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の購入を行いました。

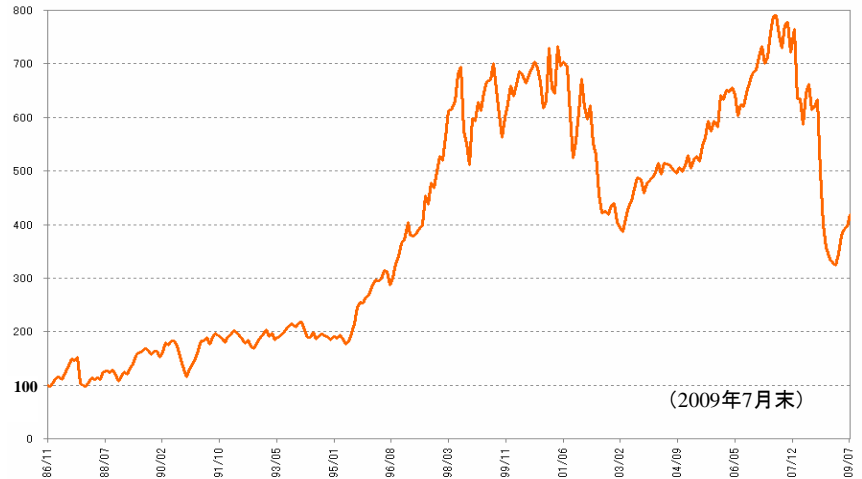
8月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
419.13408891	+5.66%	+10.22%	+27.47%	▲32.95%	▲32.43%	▲16.78%	+319.13%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移 (運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p18上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

欧州株式型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCIヨーロッパ指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	2,409,435	97.9%
現預金・その他	51,114	2.1%
合計	2,460,549	100.0%

運用状況

2009年7月の欧州株式市場は、MSCI Europe (現地通貨ベース)で9.24%の上昇となりました。米国同様に企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を受けて上昇しました。ユーロ圏の5月の鉱工業生産は、自動車販売が好調なドイツに牽引されて9ヶ月ぶりのプラスとなりました。このような市場環境の中、当特別勘定は7.13%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

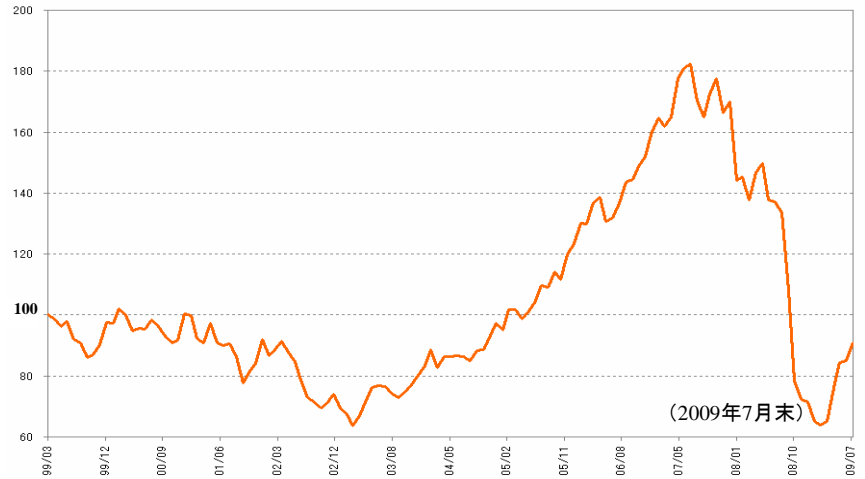
8月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC II Pan European Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
90.89332778	+7.13%	+19.64%	+39.48%	▲33.69%	▲33.41%	+5.12%	▲9.11%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移 (運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II Pan European Equity Fund (58.5%) : p19上段
フィデリティ・欧州株・ファンド (39.4%) : p19下段
現預金・その他 (2.1%)

(注)「p19上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定 運用状況(2009年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- MSCI KOKUSAIインデックスを上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	920,076	95.4%
現預金・その他	43,907	4.6%
合計	963,983	100.0%

運用状況

2009年7月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で8.07%の上昇となりました。大手企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を背景に、景気底入れ期待が高まり上昇しました。米国では、6月の住宅着工件数が昨年11月以来で最多となり、住宅市場回復への期待が高まりました。このような市場環境の中、当特別勘定は7.18%上昇しました。

当特別勘定では、資産規模を勘案し、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

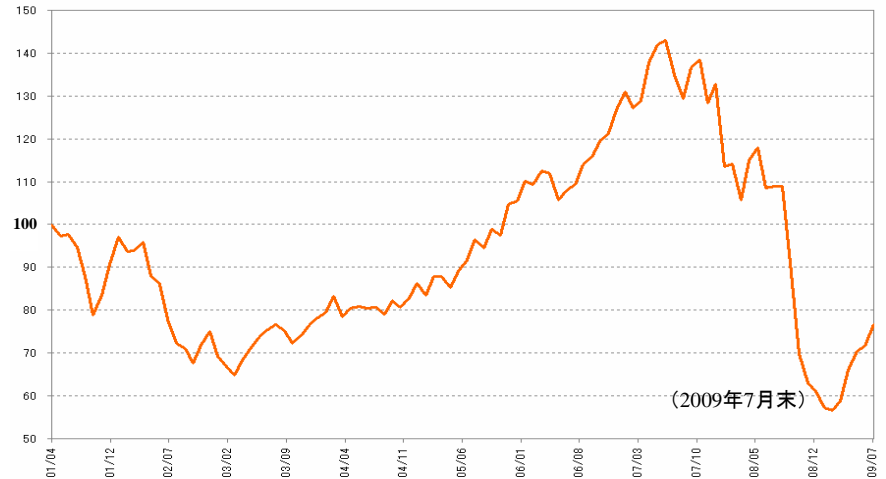
8月についても、マルチ・マネージャー型の「ラッセル外国株式ファンドI-4B」を中心とした投資を継続する方針です。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
76.68524141	+7.18%	+15.97%	+34.25%	▲29.60%	▲29.83%	▲4.86%	▲23.31%

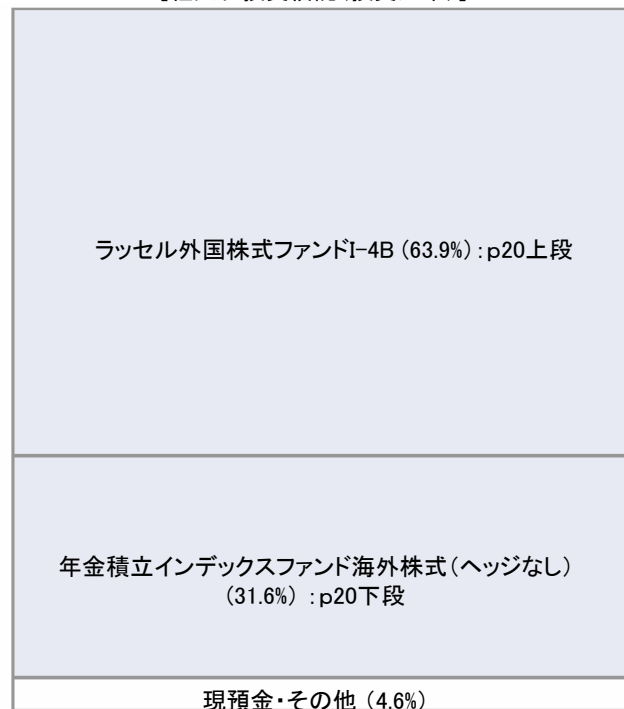
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p20上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2009年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	314,990	94.7%
現預金・その他	17,653	5.3%
合計	332,643	100.0%

運用状況

2009年7月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で8.07%の上昇となりました。大手企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を背景に、景気底入れ期待が高まり上昇しました。米国では、6月の住宅着工件数が昨年11月来で最多となり、住宅市場回復への期待が高まりました。このような市場環境の中、当特別勘定は7.34%上昇しました。

当特別勘定では、資産規模を勘案し、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

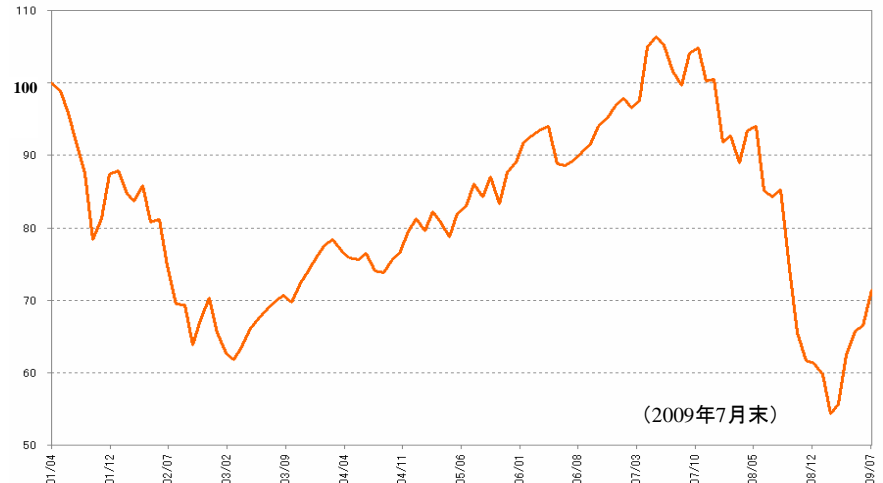
8月についても、マルチ・マネージャー型の「ラッセル外国株式ファンドI-4A」を中心とした投資を継続する方針です。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
71.38119078	+7.34%	+14.51%	+19.55%	▲15.26%	▲20.07%	▲3.61%	▲28.62%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4A (69.1%) : p21上段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (25.6%) : p21下段
現預金・その他 (5.3%)

(注)「p21上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

世界債券型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。
- 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。
- NOMURA-BPI(総合)50%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,261,185	98.9%
現預金・その他	83,950	1.1%
合計	7,345,135	100.0%

運用状況

2009年7月の世界債券市場は、Citigroup WGBI(現地通貨ベース)で0.68%の上昇となりました。3.5%台前半で始まった米10年国債利回りは、予想を下回る米雇用統計を受けて一時3.3%台前半まで低下しましたが、中旬には予想を上回る企業決算の発表を受けて一時3.6%台後半まで上昇し、最終的には3.4%後半で7月の取引を終了しました。一般債市場では、世界的な景気後退の底入れ期待の高まりを受けて、社債の対国債スプレッドが縮小しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.83%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は資金流出に合わせて「ラッセル日本債券ファンドI-1」の売却を行いました。

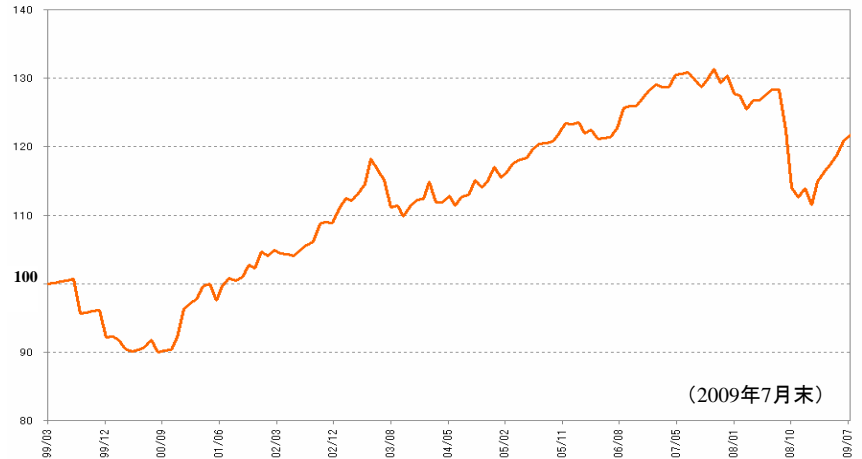
8月についても、グローバル債券運用を行う「RIC Global Bond Fund」、「グローバル・ボンド・ファンドVA」および国内債券運用を行う「ラッセル日本債券ファンドI-1」への投資を継続する方針です。なお、国内公社債と海外公社債の投資割合の調整にあたっては、「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」における国内公社債の組入れ比率および現金等の比率を勘案しています。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
121.75822566	+0.83%	+3.66%	+9.14%	▲5.15%	▲0.76%	+7.99%	+21.76%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1999年4月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

海外公社債 50%
国内公社債 50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC Global Bond Fund (49.1%) : p23上段
グローバル・ボンド・ファンドVA (17.4%) : p23下段
ラッセル日本債券ファンドI-1 (32.4%) : p24上段
現預金・その他 (1.1%)

(注)「p23上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

金融市場型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- NOMURA-BPI(総合短期)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	9,308,065	98.3%
現預金・その他	156,421	1.7%
合計	9,464,487	100.0%

運用状況

2009年7月の国内債券市場は、NOMURA-BPIで0.11%の下落となりました。1.3%台後半で始まった10年物国債利回りは、世界経済の低迷長期化の懸念から低下基調で始まり、一時1.2%台後半まで低下しましたが、中旬には予想を上回る米企業決算の発表を受けて上昇に転じ、最終的には1.4%台前半で7月の取引を終了しました。一般債市場では、景気後退の底入れ期待の高まりを受けて、社債の対国債スプレッドが縮小しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.05%上昇しました。

現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」に投資しています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

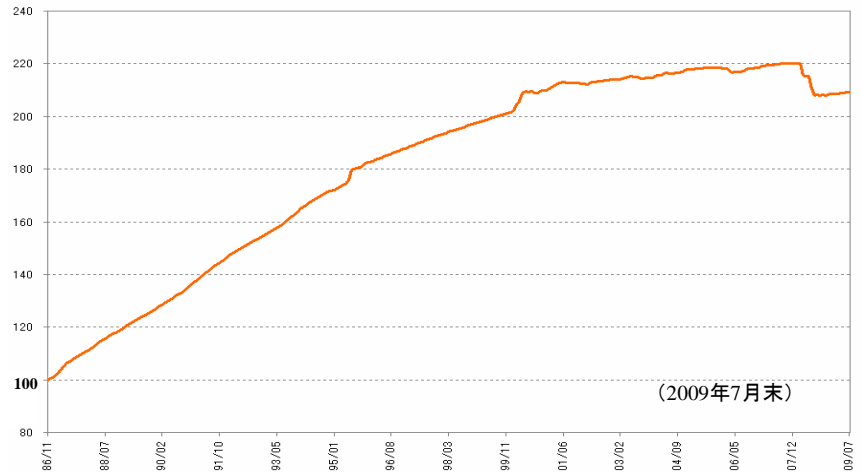
8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
209.25975932	+0.05%	+0.21%	+0.32%	+0.61%	▲3.65%	▲3.29%	+109.26%

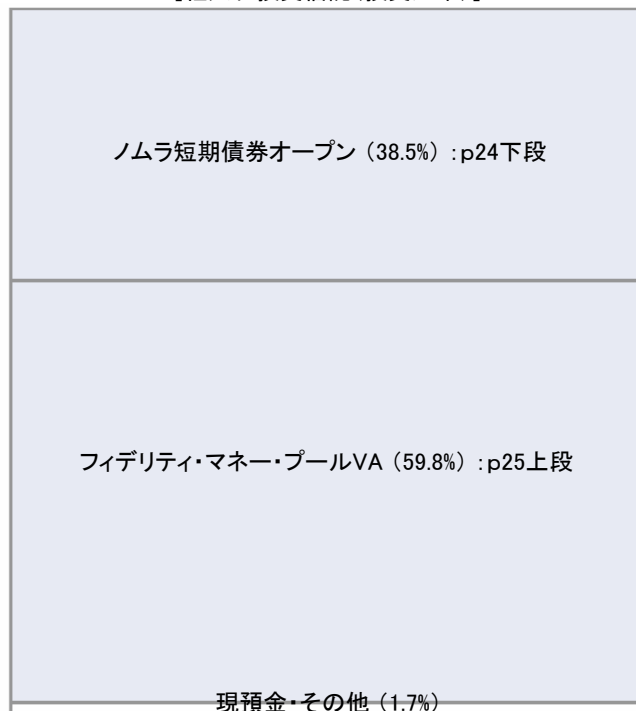
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p24下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

グローバル・バランス型特別勘定 運用状況 (2009年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。
- 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。
- MSCI WORLDインデックス50%、シティグループ世界国債インデックス50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	13,504,833	98.4%
現預金・その他	219,344	1.6%
合計	13,724,177	100.0%

運用状況

2009年7月のグローバル株式市場は、MSCI KOKUSAI (現地通貨ベース)で8.07%の上昇となりました。大手企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を背景に、景気底入れ期待が高まり上昇しました。グローバル債券市場は、Citigroup WGBI (現地通貨ベース)で0.68%の上昇となりました。3.5%台前半で始まった米10年国債利回りは、予想を下回る米雇用統計を受けて一時3.3%台前半まで低下しましたが、中旬には予想を上回る企業決算の発表を受けて一時3.6%台後半まで上昇し、最終的には3.4%後半で7月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は3.53%上昇しました。

7月は資金流入に合わせて「グローバル成長株ファンド」の購入と資金流出に合わせて「グローバル・ボンド・ファンドVA」の売却を行いました。

8月についても、内外株式部分については「RIC II World Equity Fund」および「グローバル成長株ファンド」を、内外公社債部分については「RIC Global Bond Fund」および「グローバル・ボンド・ファンドVA」を継続して保有する方針です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

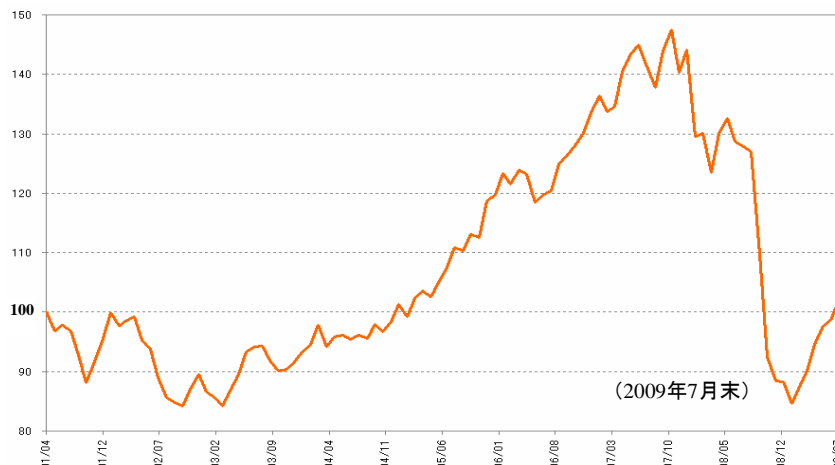
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
102.13379779	+3.53%	+7.98%	+20.69%	▲20.11%	▲15.14%	+6.21%	+2.13%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

国内外株式 50%
国内外公社債 50%

[組入れ投資信託(投資比率)]

RIC II World Equity Fund (22.3%) : p22上段
グローバル成長株ファンド (27.2%) : p22下段
RIC Global Bond Fund (21.7%) : p23上段
グローバル・ボンド・ファンドVA (27.2%) : p23下段
現預金・その他 (1.6%)

(注)「p22上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

3.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

(投資信託名)ラッセル日本株式ファンド I-3

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆国内の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+2.55%	+2.21%
過去3ヵ月	+14.82%	+13.33%
過去6ヵ月	+23.88%	+21.05%
過去1年	▲25.15%	▲25.57%
過去3年	▲38.16%	▲36.53%
設定来	+17.29%	+12.80%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 (2009年7月末現在)

[設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2009年7月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
電気機器	15.8%
銀行業	9.1%
輸送用機器	8.6%
情報・通信業	7.8%
化学	6.9%
卸売業	5.2%
小売業	4.7%
機械	4.4%
医薬品	3.5%
証券・商品先物	2.9%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三井住友フィナンシャルG	銀行業	3.8%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.6%
日本電信電話	情報・通信業	2.9%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.7%
野村ホールディングス	証券・商品先物	2.4%
本田技研工業	輸送用機器	2.3%
富士フイルムホールディングス	化学	1.5%
東芝	電気機器	1.5%
東日本旅客鉄道	陸運業	1.4%
三菱商事	卸売業	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
JPモルガン	グロース型	22%
パレジャー	グロース型	18%
GLG	バリュー型	18%
アラフィフ・パートナーズ	バリュー型	20%
ファンネクス	マーケット・オリエンテッド型	22%

- ①比率は国内株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分を除きます。

(投資信託名)モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I

(運用会社)モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本経済の構造改革が進展する過程で、その利益成長が日本経済全体の成長速度を上回ることが見込まれる成長株に厳選投資します。
- ◆綿密・詳細な企業分析に基づくボトムアップ・アプローチにより成長性の高い企業に分散投資します。
- ◆原則として個別銘柄選択を通じて超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「モルガン・スタンレー・ジャパン・グロース・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+3.63%
過去3ヵ月	+24.00%
過去6ヵ月	+27.24%
過去1年	▲17.74%
過去3年	▲39.57%
設定来	▲4.74%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 (2009年7月末現在)

[設定日:2003年11月14日]



ポートフォリオの状況 (2009年7月末現在)

■市場構成比率

市場	比率
東証1部	70.77%
東証2部	3.44%
ジャスダック	14.83%
その他市場	9.36%
現金	1.61%

※市場構成比率は、マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

■組入上位10業種 (マザーファンド・ベース)

業種	比率
電気機器	21.72%
小売業	11.47%
サービス業	9.66%
輸送用機器	8.80%
機械	7.73%
情報・通信業	7.72%
卸売業	6.45%
医薬品	5.47%
化学	5.33%
その他製品	2.55%

※業種および銘柄の組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース)

銘柄	業種	比率
ワコム	電気機器	3.29%
楽天	サービス業	3.19%
ニトリ	小売業	2.94%
デンソー	輸送用機器	2.76%
丸紅	卸売業	2.59%
キヤノン	電気機器	2.48%
日本電産	電気機器	2.37%
カルチュア・コンビニエンス・クラブ	サービス業	2.13%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.12%
ツムラ	医薬品	2.03%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名) 日本株バリューマルチマネージャーファンド

(運用会社) 新光投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の株式の中から割安とされる銘柄に投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「バリュー1号マザーファンド」および「バリュー2号マザーファンド」を主要投資対象とします。各マザーファンドの投資配分の決定にあたっては、HCアセットマネジメントの助言を受けます。
- ◆株式の運用指図に関する権限については、バリュー1号マザーファンドはラザード・ジャパン・アセット・マネジメント株式会社に、バリュー2号マザーファンドはフォルティス・インベストメント・ジャパン株式会社にそれぞれ委託しています。

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.32%
過去3ヵ月	+17.39%
過去6ヵ月	+19.76%
過去1年	▲25.23%
過去3年	▲41.09%
設定来	▲6.76%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 (2009年7月末現在) [設定日: 2003年11月20日]



ポートフォリオの状況 (2009年7月末現在)

■マザーファンド組入比率

マザーファンド	比率
バリュー1号マザーファンド	66.58%
バリュー2号マザーファンド	32.99%

バリュー1号マザーファンド

バリュー2号マザーファンド

※組入上位5業種および組入上位5銘柄の比率は各マザーファンドの株式組入比率全体を100%とした比率です。

■組入上位5業種

業種	比率
銀行業	11.7%
化学	10.9%
情報・通信業	10.9%
電気機器	10.8%
建設業	10.5%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
三菱UFJフィナンシャルG	4.3%
日本電信電話	3.9%
住生活グループ	3.1%
信越化学工業	3.0%
ジャフコ	2.8%

業種	比率
サービス業	19.5%
機械	16.9%
輸送用機器	11.9%
情報・通信業	10.9%
医薬品	8.7%

銘柄	比率
平安レーザーサービス	4.1%
井上金属工業	3.6%
東北新社	3.3%
オーナンバ	3.1%
シークス	3.0%

(出所) 新光投信株式会社

(投資信託名) SGターゲット・ジャパン・ファンド

(運用会社) ソシエジェネラルアセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュー)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「SGターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	▲0.06%
過去3ヵ月	+13.75%
過去6ヵ月	+19.97%
過去1年	▲5.04%
過去3年	▲15.33%
設定来	+51.09%

基準価額の推移 (2009年7月末現在) [設定日: 2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2009年7月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東証1部	92.3%
東証2部	1.4%
ジャスダック	1.4%
その他市場	1.6%
現金・その他	3.2%
合計	100.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■組入上位10業種

業種	比率
建設業	16.6%
機械	10.5%
電気機器	9.5%
卸売業	8.4%
化学	7.9%
金属製品	7.1%
銀行業	5.6%
その他製品	4.2%
食料品	3.9%
鉄鋼	3.6%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
天馬	化学	2.7%
日本電設工業	建設業	2.7%
長府製作所	金属製品	2.6%
七十七銀行	銀行業	2.4%
きんでん	建設業	2.3%
新東工業	機械	2.2%
関東天然瓦斯開発	鉱業	2.2%
東洋製罐	金属製品	2.1%
ハウス食品	食料品	2.0%
日立マクセル	電気機器	2.0%

(出所) ソシエジェネラルアセットマネジメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

(運用会社)フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+4.61%	+2.21%
過去3ヵ月	+18.04%	+13.33%
過去6ヵ月	+30.66%	+21.05%
過去1年	▲21.79%	▲25.57%
過去3年	▲32.66%	▲36.53%
設定来	+2.61%	▲0.44%

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日:2001年11月29日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率(2009年6月末現在)

市場	比率
東証1部	89.6%
東証2部	-
ジャスダック	1.5%
その他市場	6.9%

■組入上位5業種(2009年6月末現在)

業種	比率
電気機器	18.3%
輸送用機器	8.7%
機械	7.7%
化学	6.4%
銀行業	6.1%

■株式組入上位10銘柄(2009年6月末現在)

銘柄	業種	比率
ダイキン工業	機械	3.3%
野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	3.3%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.6%
三菱電機	電気機器	2.5%
日本電産	電気機器	2.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.3%
三井物産	卸売業	2.0%
ミズホグループ本社	卸売業	1.9%
日立金属	鉄鋼	1.8%
日東電工	化学	1.6%

(出所)フィデリティ投信株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(投資信託名)ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド

(運用会社)ピクテ投信投資顧問株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+2.99%
過去3ヵ月	+17.32%
過去6ヵ月	+10.41%
過去1年	▲33.59%
過去3年	▲50.92%
設定来	▲2.61%

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日:2002年5月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	84.1%
大証1部	9.1%
ジャスダック	2.6%
ヘラクレス	0.6%
-	-

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	18.2%
化学	9.1%
機械	8.5%
輸送用機器	8.3%
医薬品	7.0%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
日本電産	電気機器	5.3%
小糸製作所	電気機器	4.5%
日立化成工業	化学	2.9%
トヨタ紡織	輸送用機器	2.8%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
ダイキン工業	機械	2.7%
テルモ	精密機械	2.6%
クボタ	機械	2.5%
キーエンス	電気機器	2.3%
クラレ	化学	2.1%

(出所)ピクテ投信投資顧問株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆米国の大型株を主要投資対象とし、ベンチマーク(Russell 1000 Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用し、分散化を図ることで、ベンチマークと同程度のリスクになるようコントロールします。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+7.58%	+7.59%
過去3ヵ月	+13.71%	+13.67%
過去6ヵ月	+24.13%	+21.79%
過去1年	▲22.59%	▲20.79%
過去3年	▲17.93%	▲18.48%
設定来	+0.77%	+19.65%

基準価額の推移(2009年7月末現在)

【設定日:1998年1月2日】



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄(2009年6月末現在)

銘柄	業種	比率
QUALCOMM, Inc.	テクノロジー	2.4%
Apple, Inc.	テクノロジー	2.3%
JPMorgan Chase & Co.	金融サービス	2.2%
Goldman Sachs Group, Inc.	金融サービス	2.0%
Hewlett-Packard Co.	テクノロジー	2.0%
Google, Inc.	テクノロジー	1.9%
Wyeth	ヘルスケア	1.6%
Lockheed Martin Corp.	生産者向け耐久財	1.5%
PepsiCo, Inc.	生活必需品	1.5%
Abbott Laboratories	ヘルスケア	1.5%

■外部委託会社(2009年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Arnhold and S. Bleichroeder	マーケット・オリエンテッド型	7.0%
Columbus Circle	グローバル型	10.0%
Cornerstone	グローバル型	10.0%
Institutional Capital Corporation	バリュー型	13.0%
JS Asset Management	バリュー型	3.0%
MFS Institutional Advisors	バリュー型	12.0%
Montag & Caldwell	グローバル型	9.0%
Pzena	バリュー型	3.0%
Select Holdings	集中投資型	5.0%
Sound Shore	バリュー型	9.0%
Suffolk Capital Management	マーケット・オリエンテッド型	12.0%
Turner Investment Partners	グローバル型	7.0%

(出所)Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆S & P500種株価指数(円ベース)に連動した投資成果を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「米国株式インデックスマザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+5.90%	+5.82%
過去3ヵ月	+10.78%	+10.28%
過去6ヵ月	+27.05%	+24.47%
過去1年	▲28.99%	▲32.16%
過去3年	▲30.73%	▲35.85%
設定来	▲9.00%	▲18.19%

基準価額の推移(2009年7月末現在)

【設定日:2003年11月21日】



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(2009年7月末現在)

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
EXXON MOBIL CORPORATION	石油・ガス	3.80%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア	2.01%
JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア製品	1.88%
PROCTER & GAMBLE COMPANY	化粧品/パーソナルケア	1.81%
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP	コンピューター	1.72%
AT&T INC	通信	1.71%
JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.66%
APPLE INC	コンピューター	1.60%
GENERAL ELECTRIC COMPANY	その他製造	1.53%
CHEVRON CORPORATION	石油・ガス	1.50%

※比率は対純資産総額比率をいいます。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ 欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク (MSCI Europe Index) を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆ 複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
- ◆ 当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

(出所) Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+9.75%	+9.33%
過去3ヵ月	+14.64%	+13.54%
過去6ヵ月	+20.18%	+20.19%
過去1年	▲21.46%	▲17.95%
過去3年	▲31.00%	▲23.80%
設定来	▲33.66%	▲21.36%

※騰落状況はユーロ・ベースで計算しており、基準価額の推移もユーロ・ベースで表記しています。

基準価額の推移 (2009年7月末現在) [設定日: 2000年11月14日]



ポートフォリオの状況

■ 株式組入上位10銘柄 (2009年6月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
Vodafone Group PLC	イギリス	通信サービス	2.0%
Total SA	フランス	エネルギー	1.9%
HSBC Holdings	イギリス	金融	1.5%
Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.5%
Vivendi Universal SA	フランス	一般消費財	1.4%
CARLSBERG	デンマーク	生活必需品	1.4%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.4%
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.4%
IMPERIAL TOBACCO	イギリス	生活必需品	1.3%
BG Group	イギリス	エネルギー	1.2%

■ 外部委託会社 (2009年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Numeric	バリュ型	20.0%
THS	ケブ型	15.0%
TT International	ケブ型	20.0%
RCM	ケブ型	15.0%
Pzena	バリュ型	15.0%
SourceCap	ケブ型	15.0%

(投資信託名) フィデリティ・欧州株・ファンド

(運用会社) フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆ 英国および欧州大陸の証券取引所に上場 (これに準ずるものを含みます。) されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆ 個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆ 個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ MSCIヨーロッパ・インデックス (税引前配当金込/円ベース) をベンチマークとします。
- ◆ 原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所) フィデリティ投信株式会社

ファンドの騰落状況 (2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+6.53%	+9.04%
過去3ヵ月	+20.44%	+17.90%
過去6ヵ月	+42.40%	+41.81%
過去1年	▲26.06%	▲33.91%
過去3年	▲23.65%	▲29.13%
設定来	+8.81%	▲1.62%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 (2009年7月末現在) [設定日: 1998年4月1日]



ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

■ 組入上位5カ国 (2009年6月末現在)

国名	比率
イギリス	16.8%
フランス	14.2%
ドイツ	13.5%
スイス	7.7%
スペイン	6.6%

■ 組入上位5業種 (2009年6月末現在)

業種	比率
エネルギー	12.0%
銀行	11.8%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.9%
メディア	10.2%
資本財	7.9%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■ 株式組入上位10銘柄 (2009年6月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
TOTAL SA	フランス	エネルギー	4.3%
BANCO SANTANDER CENTRAL HISPANO	スペイン	銀行	3.7%
HSBC HOLDINGS PLC (UK REG)	イギリス	銀行	3.4%
ROCHE HLDGS GENUSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2%
KLOECKNER & CO AG	ドイツ	資本財	2.9%
PREMIERE AG	ドイツ	メディア	2.9%
ROYAL DUTCH SHELL PLC CL A (NL)	イギリス	エネルギー	2.5%
ORH PLC (IR)	アイルランド	素材	2.5%
TEVA PHARMACEUTICAL IND ADR	イスラエル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.3%
MORGAN STANLEY	アメリカ	各種金融	2.2%

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)ラッセル外国株式ファンド I-4B

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジを行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+7.86%	+7.58%
過去3ヵ月	+17.40%	+14.27%
過去6ヵ月	+37.59%	+36.30%
過去1年	▲29.32%	▲30.89%
過去3年	▲29.92%	▲28.01%
設 定 来	+5.13%	+11.07%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	53.0%
ユーロ地域	16.7%
ユーロ除く欧州	24.2%
その他	6.2%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
Intel Corp.	USD	1.7%
JPMorgan Chase & Co.	USD	1.6%
Nestle SA	CHF	1.5%
Glaxo SmithKline PLC	GBP	1.3%
Telefonica SA	EUR	1.2%
Apple, Inc.	USD	1.0%
Vestas Wind Systems A/S	DKK	1.0%
CIE Financiere Richemont-BR A	CHF	1.0%
Sanofi-Aventis	EUR	1.0%
AstraZeneca PLC	GBP	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
マーシコ	グロース型	20.0%
マッキンリー	グロース型	10.0%
MFS	マーケット・オリエンテッド型	30.0%
アローストリート	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
ハリス	バリュー型	15.0%

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
 ②キャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(投資信託名)年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) (運用会社)日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+6.86%	+6.90%
過去3ヵ月	+15.14%	+14.52%
過去6ヵ月	+33.38%	+31.02%
過去1年	▲32.12%	▲33.72%
過去3年	▲31.18%	▲34.31%
設 定 来	▲9.62%	▲14.67%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	53.79%
イギリス	10.70%
カナダ	5.22%
フランス	5.13%
ドイツ	4.07%
スイス	4.05%
オーストラリア	3.71%
スペイン	2.39%
イタリア	1.78%
香港	1.29%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	1.98%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.08%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.97%
HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	0.96%
PROCTER & GAMBLE COMPANY	アメリカ	0.93%
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	0.90%
BP PLC	イギリス	0.89%
AT&T INC	アメリカ	0.88%
NESTLE SA	スイス	0.84%
APPLE INC	アメリカ	0.82%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。

◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

◆原則として為替ヘッジを行います。

◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在) [設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■地域別構成比率

Table showing regional composition: North America (53.0%), Europe (16.7%), Europe excluding UK (24.2%), and Others (6.2%).

■株式組入上位10銘柄

Table of top 10 stock holdings including Intel Corp., JPMorgan Chase & Co., Nestle SA, Glaxo SmithKline PLC, etc.

■外部委託運用会社

Table of external asset managers: Marsico (20.0%), Mackinnon (10.0%), MFS (30.0%), Arrowstreet (25.0%), Harris (15.0%).

①比率は外国株式評価額合計に占める割合
②キャッシュ・エクイティゼーション(流動資金の株式化)部分等を除く。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在) [設定日:2001年10月17日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■組入上位10カ国

Table of top 10 countries: USA (54.95%), UK (10.33%), Canada (4.93%), France (4.92%), Germany (3.97%), Switzerland (3.85%), Australia (3.67%), Europe (3.07%), Spain (2.41%), Italy (1.78%).

■株式組入上位10銘柄

Table of top 10 stock holdings including Exxon Mobil Corporation, Microsoft Corp, Johnson & Johnson, etc.

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名) RIC II World Equity Fund

(運用会社) Russell Investments Limited.

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+9.12%	+8.47%
過去3ヵ月	+18.32%	+17.76%
過去6ヵ月	+27.87%	+26.43%
過去1年	▲18.76%	▲21.41%
過去3年	▲11.63%	▲15.01%
設定来	+19.96%	+11.16%

※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日: 2004年6月24日]



ポートフォリオの状況

■地域別構成比率(2009年6月末現在)

地域	比率
US & Canada	45.3%
Europe ex UK	21.5%
UK	11.4%
Japan	8.7%
Emerging Markets	7.8%
Asia Pacific ex Jpn	5.3%

■株式組入上位10銘柄(2009年6月末現在)

銘柄	国名	業種	比率
AstraZeneca	イギリス	ヘルスケア	1.2%
Petroleo Brasileiro SA	ブラジル	エネルギー	1.2%
JPMorgan Chase & Co.	米国	金融	1.2%
Apple, Inc.	米国	情報テクノロジー	1.2%
Sanofi-Aventis	フランス	ヘルスケア	1.2%
INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	1.0%
Nestle SA	スイス	生活必需品	1.0%
Bank of America Corp.	米国	金融	1.0%
QUALCOMM, Inc.	米国	情報テクノロジー	0.9%
Google, Inc.	米国	情報テクノロジー	0.9%

■外部委託会社(2009年7月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
Arrowstreet Capital	マーケット・オリエントド・バリュー型	25.0%
Axiom	グローバル型	20.0%
MFS Institutional Advisors	マーケット・オリエントド・グローバル型	30.0%
Marsico	グローバル型	15.0%
Tradewinds NWQ	バリュー型	10.0%

(出所)Russell Investments Limited.

(投資信託名) グローバル成長株ファンド

(運用会社) 日興アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。
- ◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。
- ◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグローブス/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1ヵ月	+6.44%	+6.40%
過去3ヵ月	+11.65%	+14.47%
過去6ヵ月	+31.58%	+29.09%
過去1年	▲38.79%	▲33.29%
過去3年	▲35.73%	▲34.99%
設定来	▲12.49%	▲10.60%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日: 2001年10月2日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	53.0%
イギリス	9.4%
日本	5.6%
ドイツ	5.3%
スイス	5.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信	2.7%
ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.6%
ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	スイスフラン	医薬品	1.9%
AMGEN INC	アメリカドル	バイオテクノロジー	1.9%
NESTLE SA	スイスフラン	食品	1.9%
BANK OF AMERICA CORP	アメリカドル	銀行	1.8%
BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	鉱業	1.8%
APPLE INC	アメリカドル	コンピューター	1.8%
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリスポンド	農業	1.7%
SUNPOWER CORP-CLASS A	アメリカドル	電気部品・電気機械	1.7%

(出所)日興アセットマネジメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Lehman Brothers Global Aggregate Index)を上回ることを目標として運用を行います。
◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

(出所)Russell Investments Limited.

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況は米ドルベースで計算しており、基準価額の推移も米ドルベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■セクター別構成(BM対比)(2009年6月末現在)

Table with 2 columns: Sector, Ratio. Rows include Government Bonds, Corporate Bonds, etc.

■格付け別構成比(BM対比)(2009年6月末現在)

Table with 2 columns: Rating, Ratio. Rows include AAA, AA, A, BBB, etc.

■外部委託会社(BM対比)(2009年7月末現在)

Table with 3 columns: Management Company, Style, Target Allocation. Rows include Colchester Global Investors, Drake, Loomis, PIMCO.

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日:1994年9月30日]



当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定
グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
◆シティグループ世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
◆原則として為替ヘッジは行いません。
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)アバディーン投信投資顧問株式会社

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

Table with 3 columns: Period, Fund, Benchmark. Rows include 1 month, 3 months, 6 months, 1 year, 3 years, and since inception.

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(2009年7月末現在)

■国別構成比率 上位5カ国

Table with 2 columns: Country, Ratio. Rows include Japan, Germany, Africa, France, Italy.

■通貨別構成比率 上位5通貨

Table with 2 columns: Currency, Ratio. Rows include Euro, Japanese Yen, US Dollar, British Pound, Canadian Dollar.

※各比率は、各マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンドの比率から算出しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日:2002年8月1日]



■債券組入上位10銘柄

Table with 6 columns: Bond Name, Currency, Maturity Date, Coupon, Rating, Ratio. Lists top 10 bond holdings.

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(投資信託名)ラッセル日本債券ファンドI-1

(運用会社)ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

(出所)ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1か月	+0.24%	▲0.11%
過去3か月	+1.57%	+0.67%
過去6か月	+1.25%	+0.43%
過去1年	+1.78%	+2.84%
過去3年	+5.53%	+8.10%
設定来	+5.49%	+8.55%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移(2009年7月末現在)

[設定日:2003年11月18日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2009年7月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	57.6%
地方債	0.0%
政府保証債	3.1%
金融債	0.0%
事業債	24.0%
円建外債	4.5%
MBS	0.0%
ABS	0.0%
その他	10.8%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
BNPパリバ	金利弾力型	31%
リソナ	広範囲型	20%
DIAM	広範囲型	25%
住信アセット	クレジット/セクター戦略型	20%
ビムコジャパン	収益源泉拡張型	4%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(投資信託名)ノムラ短期債券オープン

(運用会社)野村アセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的として安定運用を行います。
- ◆NOMURA-BPI総合短期(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期)をベンチマークとします。
- ◆デュレーション、公社債のセクター(種別・格付別等)配分、個別銘柄選定等をアクティブに決定・変更し、収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ノムラ短期債券オープン マザーファンド」を主要投資対象とします。

NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村証券株式会社金融経済研究所が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

(出所)野村アセットマネジメント株式会社ホームページより

ファンドの騰落状況(2009年7月末現在)

	ファンド	ベンチマーク
過去1年	+1.3%	+1.6%
過去2年	+0.5%	+1.5%
過去3年	+0.6%	+1.3%
設定来	+5.3%	+4.5%

※騰落状況は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。
※2~3年の騰落率は年率平均(複利ベース)
※設定来=2002年4月26日以降

ポートフォリオの状況(2009年7月末現在)

■デュレーション

2.2年

■種別構成比

種別	比率
国債	69.6%
地方債	1.3%
政府保証債	1.6%
金融債	3.7%
事業債	17.6%
円建外債	3.1%
MBS	-
ABS	0.5%
その他の債券	-
その他	2.5%
外貨建資産	-

■格付別構成比

格付	比率
AAA	76.4%
AA	13.1%
A	4.8%
BBB	3.2%
BB	-
B以下	-
その他	2.5%

※「デュレーション」は短期金融資産(キャッシュ等)を含めたファンド全体のデュレーションをいいます。
 ※「種別構成比」における円建資産の種別は、ベンチマークの資産構成比に準じて表示しています。ベンチマークの種別に該当しない債券はその他債券とします。
 ※格付は、指定格付機関から受けている格付のうち、最も高い格付けによります。
 ※比率は、マザーファンドにおける対純資産総額比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

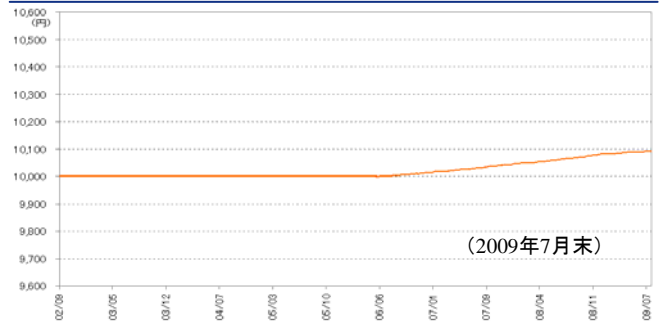
ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況
(2009年7月末現在)

	ファンド
過去1ヵ月	+0.01%
過去3ヵ月	+0.04%
過去6ヵ月	+0.11%
過去1年	+0.28%
過去3年	+0.90%
設定来	+0.92%

基準価額の推移(2009年7月末現在) [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール
(2009年6月末現在)

平均残存日数	47.87日
平均残存年数	0.13年

■格付別構成比
(2009年6月末現在)

	格付	比率
長期債券 格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	93.9%
	A	-
短期債券 格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		6.1%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄(2009年6月末現在)

銘柄	格付	比率
第27回 国庫短期証券 2009/08/24	AA/Aa	14.8%
第19回 国庫短期証券 2009/07/21	AA/Aa	12.4%
第20回 国庫短期証券 2009/07/27	AA/Aa	12.4%
第16回 国庫短期証券 2009/07/13	AA/Aa	9.9%
第24回 国庫短期証券 2009/08/17	AA/Aa	9.9%
第29回 国庫短期証券 2009/09/07	AA/Aa	9.9%
第32回 国庫短期証券 2009/09/14	AA/Aa	7.4%
第35回 国庫短期証券 2009/09/29	AA/Aa	7.4%
第21回 国庫短期証券 2009/08/03	AA/Aa	4.9%
第34回 国庫短期証券 2009/09/18	AA/Aa	4.9%

(出所)フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

4. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

アバディーン投信投資顧問株式会社

アバディーン投信投資顧問株式会社は、英国スコットランドのアバディーンに拠点を置く独立系の運用会社で、上場する運用会社としては英国最大級の運用規模を誇るアバディーン・アセット・マネジメント PLCの日本法人です。アバディーン・アセット・マネジメント PLCは、1983年の会社設立以降、独立系運用機関として主要金融機関の傘下に入ることなく、資産運用に特化した事業を展開し、順調な拡大を遂げています。独自の調査・分析および判断に基づいた運用を基本とし、世界の市場を網羅した効率的な運用体制を構築すると同時に、チーム運用重視、明確な運用プロセス、フラットな組織のもと、長期的視野に立った運用を行っています。

*平成21年7月1日付で「アバディーン投信投資顧問株式会社」に商号変更いたしました。

新光投信株式会社

2000年4月の合併発足以来、「魅力ある商品開発」「優れた運用成果」「質の高いサービスの提供」を経営理念とし、皆様に代わって資産運用を行なう専門家として、投資家の皆様から信用されるべく、実直に業務に邁進して参りました。

弊社は1961年に設立された国内でも有数の歴史を持つ、国内株式の運用に強みを持つ運用会社ですが、海外の有力な運用会社などとも提携することで、国内のみならずグローバルに収益機会を求めたいと考えている投資家のニーズにもお応えしておりますが、今後もアジア市場を中心とした成長性の高さに期待できるような投資対象に注目して参ります。

「資産形成のより良きパートナー」をモットーとして、全役職員(2009年5月末現在:185名)が基本に立ち返り、投資家の皆様からご満足いただける運用成果を目指すとともに、信頼されるサービスのご提供に全社一丸となって取り組み、業界内での存在感を示していく所存です。

ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社

仏銀大手ソシエテ ジェネラルを中核とするソシエテ ジェネラル グループはユーロ圏大手の総合金融サービスグループです。2008年12月末現在の従業員数は約163,000人、総資産は1兆1,300億ユーロ(約142兆3,800億円(126.00円/ユーロで円換算))を誇ります。ソシエテ ジェネラルの2009年5月末現在の財務格付けはスタンダード&プアーズ: A+(安定的)、ムーディーズ: Aa2(ネガティブ)、フィッチ: A+(安定的)を取得しております。

ソシエテ ジェネラル アセット マネジメント(SGAM)グループはその資産運用部門に属し、パリ、ロサンゼルス、東京、シンガポールなどグローバルに展開される各拠点との連携のもと、綿密な調査体制を活かした運用を行います。2009年3月末現在の運用資産残高は2,642億ユーロ(約34.7兆円(131.14円/ユーロで円換算))です。SGAMは格付機関フィッチ・レーティングスから国際的な資産運用会社に与えられた中で高位の格付け「M2」を2000年以降維持しています。

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメントは、2009年、創立50周年を迎える歴史と伝統ある資産運用会社です。当社は「専門性はグローバルに、実践は日本的に」を経営理念とし、日本の資産運用会社として、あくまでも日本的な経営手法を重視し、日本のお客様の資産運用に焦点をあてています。また、世界中から素晴らしい投資手法や商品を集約し、私共の枠組みに取り入れるポジションを確立しています。当社では、お客様のあらゆるニーズに対応できるよう、多様な投資対象、投資スタイルにわたる商品を高度な専門性のもとに提供することを使命と考えています。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

野村アセットマネジメント株式会社

1997年10月に野村証券投資信託委託株式会社と野村投資顧問株式会社が合併して発足した、野村グループの資産運用会社です。資産運用業界のリーディングカンパニーとして、最先端の金融テクノロジーを駆使した運用や商品開発、専門性を誇る調査、きめ細かなクライアント・サービス、グローバルなネットワークで、多様化するお客様のニーズにお応えしております。

投資信託だけでなく国内海外を問わず年金基金等の投資顧問の運用受託でも国内トップクラスの運用残高となっております。

フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FIL Limitedの実質的な子会社です。

FIL Limitedは、1969年にバミューダで設立され、米国を除く世界の主要なマーケットにおいて個人投資家と機関投資家を対象に投資商品ならびにサービスを提供しています。委託会社は、日本の機関投資家、個人投資家の皆様に投資機会を提供するための投資信託業務を1995年に開始し、資産運用に従事しています。

FIL Limitedの関連会社である、フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ・カンパニー(FMR Co.)^{※1}は1946年にボストンで設立された歴史のある米国の投資信託会社です。世界各地のフィデリティ^{※2}の投資専門家は、分析した個別企業の投資情報をお互いに共有しているため、グローバルな視点での投資判断が可能となっております。

※1 FMR Co.はFMR LLCの子会社です。

※2 FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。また、「フィデリティ」とは、日本語では「忠誠」、「忠実」を意味します。

モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・グループの日本法人としてグループ全体の資源およびノウハウを活用した質の高い資産運用サービスを、国内外の様々なお客様に提供しています。2009年3月末現在の運用資産残高は、約3兆2,866億円(※)となっております。また、同社グループでは、800名を超える運用プロフェッショナルが、組織的なチーム運用体制のもと、高度な運用手法を用いて資産運用に当たります。2009年3月末現在、グループ全体の運用資産残高は約35兆円(※)となっております。

(※2009年3月末現在のWMロイターの為替レート、1ドル=98.770円で円貨換算)

ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメント・グループは、「マルチ・マネージャー運用のグローバル・リーダー」として世界46カ国で総合的な資産運用サービスを提供しています。ラッセルが提供するサービスは、グローバルな運用会社調査をベースに、資産運用コンサルティング、資産運用サービス、執行管理サービス、オルタナティブ投資サービス、確定拠出年金サービス、Russell 1000[®]、Russell 2000[®]、Russell 3000[®]、Russell/Nomura日本株式インデックス、Russell Global Index等のインデックスの開発など多岐にわたります。ラッセル・インベストメント・グループの創立は1936年です。現在当グループが提供する資産運用コンサルティング・サービスの対象資産総額は約83兆円(2008年9月末現在)、またマルチ・マネージャー運用の資産総額は約13兆円(2008年12月末現在)となっております。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の募集補助資料としての有効期限は、2009年9月末となります。

【引受保険会社】



〒160-8335東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代表)

お問合せ窓口：カスタマーサービスセンター

 **0120 - 911 - 999 (無料)**
9:00～18:00 (土日祝日および12月31日～1月3日を除く)

【お問い合わせ先】